

受領 令和4年12月1日 11時30分

通告番号(9)1/2

令和4年12月1日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
城間 真弓 印

一般質問通告書

第522回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 障がいのある無しに関係なく、地域で共に学び共に生きる社会を！</p> <p>(1) 各小学校別に、より丁寧な手立てが必要な子どもの数と、支援員及びヘルパーの数（※発達障がい、身体的な障がい等の内訳数）</p> <p>(2) 各中学校別に、より丁寧な手立てが必要な子どもの数と、支援員及びヘルパーの数（※発達障がい、身体的な障がい等の内訳数）</p> <p>(3) インクルージョン教育の説明を求めます。また、本村としてインクルージョン教育を積極的に学校現場で推進しているか。</p> <p>(4) 障がい児教育に携わる支援員及びヘルパーの確保は、子ども達が安全・安心の環境の中で、仲間と共に自分らしく学び合うためにも必須である。来年度もしっかりと子ども達の必要性に応じた職員確保は可能か。</p> <p>(5) 障がい児を持つ保護者の相談を受ける中で、同じ悩みを抱える保護者同士で相談し合ったり、色々な情報を共有できるコミュニティの場や、その保護者同士のつながりがほしいという声があります。その声を具体化できないか。</p>	
<p>2 基本的人権を守り、性の多様性を尊重するまちづくりへ！</p> <p>(1) 性の多様性については、私が2021年3月議会において人口が1番多い村として、多様性を尊重する村「ゆんたんざレインボー宣言」を掲げてはどうかとの質問に対し、村長答弁で「具体的に行動するような指針は持ち合わせていない」と述べたのち、その</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>後の発言として「男らしく、女らしく中間もあるということで、私はよく言うのですが、男はカチャーシーはグーで、女性は平で、そしてチョキで踊ってもいいよね」との答弁だった。人権に携わる政策提起を投げかけている場において、この発言に問題はなかったか。</p> <p>(2) 今年の11月20日に行われたピンクドット@沖縄(「すべての人が、自分らしく生きやすい社会を」をテーマに、LGBTQの当事者、支援者、連帯者がピンク色のものを身につけ集い、その思いを共有し、表現するイベント)にて、41市町村中、唯一読谷村だけが後援を断ったと主催者の方から報告がありました。その理由とは。</p> <p>(3) 読谷村として、性的マイノリティの方々がいかにいても、その方々が何人も役場に声を上げないと「ゆんたんざレインボー宣言」は検討しないという方針か。</p>	
<p>3 村民の命と暮らしを最優先に！波平98番地と隣接する村道の空洞化について、村の安全対策への姿勢を問う。</p> <p>(1) 約1年前に波平98番地の家屋を購入した家主が自らリフォームをしようとした際、村が管理している側溝から水が漏れ出し、家主の建物の下に川のように流れていることがわかり、その状況から隣接している村道と、その家屋の地盤沈下と空洞化が発見された。村もそれを認め、今年その周辺を含む側溝工事を行ったが、中でも1番危険とされる波平98番地と隣接する道路や側溝工事のみが手付かずのままである。その理由は。</p> <p>(2) 村道の空洞化が発見されてから1年が経過する。その間、この道は重量のある大型トラックなどの通行は危険とされていることや、自然災害などの影響でいつ陥没してもおかしくありません。村民の命と暮らしを守るため早急な対策は急務である。工事の目処は立っているか。</p>	